



5月29日 伊豆海認定こども園じゃがいも堀り

議会人事

2～3

所信表明・大綱質疑

4～5

6月定例会・臨時会

6～8

一般質問

9～17

議会だより、定例会一般
質問動画は、西伊豆町
ホームページでもご覧に
なれます。



議長に高橋敬治氏 副議長に浅賀元希氏が当選

4月28日に令和7年第2回臨時議会が開会され、専決処分の承認1件、議会人事による議長・副議長などの選挙7件、第1・第2常任委員と議会運営委員の選任、副町長・監査委員の選任など同意3件を行いました。



議長 高橋 敬治

議員各位からの推挙により、2度目の議長に就任となり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

議長として、一人ひとりの意見を尊重し、集約し、公平で公正な議会運営に努めてまいります。

議会には、町政の進展と住民福祉の向上のため、「町の具体的政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」の役割と責任があり、議員各位には「自らの言動責任」と共に、住民の声を町政に反映させるべく「提言、立案、問題解決能力」が求められます。

4月の議会議員選挙において、7人の新人が当選され、非常に多様性に富んだ議会構成となり、今後の活躍が大いに期待されているところです。

町民の皆さまには常日頃より、町政発展のために温かいご支援ご協力を受け賜っておりますことに改めて感謝申し上げます、就任のご挨拶といたします。



副議長 浅賀 元希

このたび、議員の皆さま方の推挙を賜り、副議長の要職に就くこととなり、大変責任の重さを感じております。

西伊豆町では、少子高齢化の進行に歯止めがかからない状況であり、教育環境整備、ごみ処理問題、防災・減災対策と大きな問題をかかえている状況です。地方自治体は、首長（町長）と議会議員はそれぞれ選挙により選ばれる二元代表制となっています。そのため町の課題への取組は、町長にだけ責任を負わすものではなく、我々議会議員にも重大な責任があります。大きな問題解決を図るとともに、子どもから高齢者まで誰でもが、安全で安心して暮らせる、西伊豆町を目指していきます。それには、町民の皆さまの声が重要だと思います。是非とも忌憚のないご意見をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます、就任のご挨拶と致します。

各常任委員会の構成が決まりました

第1 常任委員会

委員長



仲田 慶枝

副委員長



堤 圭祐

委員



河内ひとみ

委員



山本 豊

委員



高橋 敬治

〔所管〕 総務課・窓口税務課・健康福祉課・
会計課・教育委員会

第2 常任委員会

委員長



加藤タツ子

副委員長



浅賀 元希

委員



土本 直矢

委員



中島 健

委員



磯 清彦

〔所管〕 まちづくり戦略課・防災課・環境課・
産業振興課・建設課・企業課

議会選出監査委員

磯 清彦

議会運営委員会の構成

委員長 仲田 慶枝

副委員長 加藤タツ子

委員 中島 健

委員 河内ひとみ

広報編集委員会の構成

委員長 浅賀 元希

副委員長 土本 直矢

委員 山本 豊

委員 加藤タツ子

委員 仲田 慶枝

組合議会の議員

西豆広域行政組合

土本 直矢 加藤タツ子 浅賀 元希

下田地区消防組合

堤 圭祐 磯 清彦

一部事務組合下田メディカルセンター

中島 健 河内ひとみ

南伊豆地域清掃施設組合

山本 豊 仲田 慶枝

副町長



たかぎ こういち
高木 光一氏
【宇久須】

代表監査委員



やまじ よしたか
山地 純正氏
【宇久須】

課題山積も着実に施策を実施！

令和7年度

西伊豆町長

所信表明(抜粋)

所信表明

2期8年間の町政運営を信じていただいたものと考えますが、町民の声や思いに応えられていない点も認識しており、今後も町民の声に耳を傾け、期待に応えられるよう努力していきたい。

津波対策と避難体制

過去8年間で5か所に津波避難タワーを建設し、今後も建設を控えています。併せて既存の避難路の再点検や必要な整備を再確認して、まずは命が助かる場所の確保を確実に行っていきます。

また災害後の避難生活に関して、避難所の不足や医療難民発生懸念など、重要課題として取り組んでいきます。

人口減少対策と定住促進

西伊豆町は合併後21年で約4,000人（3分の1以上）の人口が減少しました。帰ってきたくなる町、帰ってこられる町にしなければならない。また、移住者の受け入れにも力を入れる必要があります。

子育て・教育環境の充実

給食費無償化や出産・子育て

で助成などの施策を実施していますが、少子化に歯止めがかかっていないのが現状です。一番の要因は子どもを産み育てる世代が少ないことです。子どもが少ないからこそできる手厚い教育環境の整備なども今まで以上に力を入れて、子育て世代に選ばれる町にしたいと考えます。

学び舎・園の整備も待ったなしです。子どもたちが安全で安心できる場所での園生活・学習する施設は必ず必要になります。子どもたちに使う費用は未来への投資です。

観光業の再生と革新

観光業はコロナ前の宿泊者数に近づきつつあるものの、完全に戻ったとは言えない状況です。繁忙期にはしっかりと誘客し、閑散期においても新しいチャレンジでお客様をお迎えする仕掛けが必要です。失敗を恐れずチャレンジしなければ生き残れないほど窮地に立っているという認識です。

産業振興と地域経済

気候に合った農作物の栽培に取り組んだり、既存事業の拡充にチャレンジする方の支援を行っていきます。また中間マージンを抑えた販売ができる体制を有効に活用していただければと考えます。

林業については極力輸送をしない地産地消を行う必要があります。川上から川下までしっかりとした流れをつくることによって林業の充実・雇用の安定・災害の温床の解消などを行っていききたい。

水産業に関しては、藻場の形成による漁業資源の増加など、育てる漁業・関与する漁業も成果を上げ始め、移住組の漁業者も増えつつありますので、今後もこの事業が大きく育つように取り組みたい。

漁業以外で漁港を活用する海業も推進し、観光客の獲得に繋げていきたい。

商工業は物価高に苦しむ町民への支援をし、町内での購買を今後も促したい。

健康長寿のまちづくり

病気にならない・なりにくい生活を心掛けるとともに、介護予防・ラジオ体操・サロンでの活動を通して少しでも長く自分のことは自分でできるような取り組みを強化していきたい。7年度は保健師が地区を回り、取り組みの説明に伺うことを予定しています。元気で長生きできる取り組みを継続していきたい。

課題は山積していますが、できることから着実に施策を実施して参りたいと存じますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

大綱質疑

町政継続の評価と課題

質問 町長が無投票再選された理由は、具体的にどのような分析するのか。

町長 選挙が行われる以上、対抗馬が出なかったということは、当然、ある程度のご信任がなされているものと考えています。また、コロナ後の経済対策としては、サンセットコインなどさまざまな施策を実施してまいりましたし、防災対策も、着実に取り組んでいるものと認識しております。

質問 これまでの町政運営での反省点は。

町長 反省点としては、学校の問題を解決することができなかったことが挙げられ、これは反省すべき点であると考えています。

新議会とどう向き合うか

質問 今回、新人候補が全員当選したことは、町民が議会に新しい風を求めた結果であるとの見方もある。このような新しい構成の下での議会となる中、今後の行政運営において、議員・議会との関係をどのようなスタンスで進めていく考えか。

町長 議員の方が入れ替わろうが、そうでなかろうが、行政運営としてのスタンスは変わりません。新人議員

であるかどうかや、これまで長く活動されてきた議員かどうかといった点で、特別扱いするようなことは一切ありません。この議場にいらっしゃるすべての議員は、町民の代表として等しく一票を持っており、地域や経歴に関係なく、皆さまの意見を尊重しています。従って、前任の議会構成であっても、現在の構成であっても、行政としては同じ姿勢で議会に対して説明を行い、さまざまな提案をさせていただく考えです。

町民との対話を行政へ

質問 町民の声に耳を傾けて可能な限りその期待に応えていくと述べているが、具体的には、どのような方法で町民の声を聞き取り、それを町政に反映していく考えか。

町長 私は町内を回ることが多く、町民の皆さまから直接声をかけていただく機会もあります。そうした場で、

いただいたご意見は、施策に反映できるものは積極的に取り入れています。すぐに対応できるものは即対応し、実現が難しいことは、町民の要望として真摯に受け止め、必要に応じて検討・実施していきたいと考えています。

町民のご意見をよりの確に行政運営へ反映させるために、来年度の予算編成前に町民の声を聞く機会を設けたいと考えています。今年度は、9月から10月の初め頃に、町政運営に関するご提言をいただける場を設け、その意見をもとに予算編成方針を組み立てていく予定です。もちろん、すべてのご意見に即応できるわけではありませんが、できる限り町民の声を反映させるよう努めてまいります。



所信表明を述べる町長

木質バイオマス発電 整備工事施工監理業

開催期間	6月4日から6月6日まで
審議した案件	町長提出議案 5件 報告 2件 選挙 1件
可決した議案	漁港管理条例の一部改正 水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例の一部改正 町指定金融機関の指定について 令和7年度一般会計補正予算（第1号）修正案 仁科築地地区津波避難タワー建設工事請負契約の締結について

こんなことが、決まりました。

漁港管理条例の一部を改正する条例（全員賛成）

近年の物価高騰による管理コスト上昇及び、海業推進の観点から漁船以外の船の漁港利用料を上げ漁協の収入を増やすため、条例で定める特別泊地（安良里マリーナ）及び、その他の漁港施設で停係泊又は陸置きする際の利用料を改正します。船長10m未満の船舶の利用料が1mにつき月額5千円になるなどです。

水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）

町内全海域での年間を通した危険行為に対する抑止力の向上を図るため条例に罰則規定を設けます。違反した者は6月以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金になります。

指定金融機関の指定について（全員賛成）

指定期間が満了するため、7年7月1日から9年6月30日までの2年間、三島信用金庫を指定します。

一般会計補正予算（第1号）原案

歳入歳出にそれぞれ6642万8千円を追加し、予算総額

を87億1642万8千円とします。価格高騰緊急支援給付金2600万円、田子みなと公園公衆便所浄化槽交換工事1300万円、木質バイオマス発電施設整備工事施工監理業務730万円、仁科認定こども園津波シェルター購入費767万円、年次点検などに伴う町外ごみ処理業務215万8千円、ガストロノミーツーリズム事業業務委託200万円、伊豆西南海岸観光誘客推進協議会負担金223万3千円、公用車のNHK受信料をカーナビ設置年月日まで遡る88万4千円などです。

施設 務減額修正

◎経営計画の考え方、事業内容、事業の進め方など問題点が浮き彫りになったため、一度立ち止まり問題を解決する必要があると考えます。

問 価格高騰緊急支援給付金は6年度の給付金とは異なる新たな給付金か。

答 6年度中に把握できなかった対象者への調整給付金の不足額給付です。

問 NHK受信料が発生しないように公用車からモニターを外すことは可能か。

答 ナビとバックモニターは必要なので外すのは難しい。

一般会計補正予算 (第1号)修正動議 (賛成5:反対4)

歳入繰入金を730万円減額し、木質バイオマス発電施設整備工事施工監理業務730万円を0円に改めます。

【修正案提出者への質疑】

問 木質バイオマス発電施設整備工事は予算通過し事業が進められることになっている、事業を執行するために必要な業務委託を不必要というのか。

答 問題点が出てきたので事業をもう一度見直す期間を設け、やはり必要であれば進めていただきたい。

【討論】

原案に賛成

この事業は3月定例会で十分討議され承認されている。

さらに町の総合計画にも事業として入っている。町にとって有用な事業で、F I T制度や補助金申請などを考えると遅滞なく進めるべきと考え、原案に賛成。

一般会計補正予算 (第1号) 修正部分を除く原案 (全員賛成)

仁科築地地区津波避難タワー建設工事請負契約の締結について

(全員賛成)

契約金額は2億8160万円



多くのプレジャーボートなどが停泊する安良里マリーナ

で契約の相手方は河津・国本特定建設工事共同企業体です。敷地面積は1198.44㎡、避難床面積は107.10㎡、避難床の高さは11.13mです。

問 階段は4人が並べる幅か。

答 バリアフリー基準では140cmとなっていますが、3名が並んで上れる幅として165cmとしました。

問 深さ20mの砂礫層(N値25～30)を支持層として、施工可能と思うがいかがか。

答 設計事務所に委託し、横の衝撃も含めて工法検討されていると考えます。

静岡県後期高齢者医療保険 広域連合議会議員の選挙

笠井政明氏(東伊豆町) 10票

平野正紀氏(小山町) 0票

第2回臨時会 令和7年4月28日

議会に関する人事案件の選挙、選任、同意を行い、税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を審議しました。

西伊豆町税条例等の一部改正(第1号専決処分) (全員賛成)

西伊豆町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を行いました。

質問 2輪の排気量が125CC以下かつ最高出力が4キロワット以下のものは2千円排気量が90CCを超えるもの、出力が0.8キロワットは2400円、小さいバイクのほうが税金が高いと思われますがいかがか。

窓口税務課長 これまでの電動機付自転車は定額出力が基準でしたが、新たに追加されるのが、最高出力4キロワット以下となり、基準が違うので、比較ができません。

副町長の選任 (全員賛成)

高木光一氏を副町長とすることに同意しました。
(3ページに写真あり)

監査委員の選任(2名) (全員賛成)

代表監査委員 山地純正氏
監査委員 磯 清彦氏
両名を選任することに同意しました。
(3ページに写真あり)

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 主祐	土本直矢	中島 健	磯 清彦	河内ひとみ	山本 豊	加藤タツ子	浅賀元希	仲田慶枝	高橋敬治	議決結果
第2回臨時会	専決処分の承認(西伊豆町税条例一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認
	副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意
	監査委員の選任(識見者)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意
	監査委員の選任(議選)※	○	○	○	※退	○	○	○	○	○	—	同意
6月定例会	漁港管理条例の一部を改正する条例案について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例の一部を改正する条例案に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	指定金融機関の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	一般会計補正予算(第1号)修正動議	○	○	×	×	○	○	×	○	×	—	修正案可決
	一般会計補正予算(第1号)修正を除いた部分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	仁科築地地区津波避難タワー建設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

議長(高橋敬治)は採決に加わりません。 ※該当者(磯 清彦)採決に加わりません。

ふるさと納税寄付額予算は適正か

(町長) 事業継続と要望に応えるために10億円



なか だ よし え 議員
仲 田 慶 枝

質問 ふるさと納税寄付金額が2年度をピークに減少している要因は。

町長 制度改正に対応したことによりお得感が減ったこと、年末の出荷遅延によるマイナス評価が影響したと考えます。

質問 新たに始めた取組は。

町長 プロモーションと返礼品の強化です。紙の感謝券を再開させます。また、旅行に関する返礼品は中間事業者の一部を委託します。

質問 リピーターが多いが西伊豆ファンを増やす取組は。

町長 カレンダーとダイレクトメールを送っています。さらにきめ細かい対応をし、旅行に行こうと思えるような取組を引き続き行いたい。

質問 7年度寄付額予算が10億円だが、適正と考えるか。

町長 合併による財政措置の終了により4億円の穴埋めが必要です。事業継続と新たな住民の要望に応えるため10億円を確保できる体制を取りたいと考えています。

堂ヶ島エリアの駐車場

今後も観光協会と協議

質問 堂ヶ島からトンボロの観光客への駐車場対策は。

町長 GWには堂ヶ島温泉ホテルの駐車場を有料解放し、成果が上がりました、今後も観光協会と協議しながら対策を行っていきます。

質問 堂ヶ島エリアを整備する計画は。

町長 黄金崎の整備が終了後に国や県の有利な補助金を得て整備に取り掛かりたい。

DMOの整備は

3者の連携で設立へ

質問 地域一体となつてのマーケティングや観光資源の磨き上げ、人材育成、情報発信などを行うDMOの整備が必要と考えるが。

町長 観光の磨き上げに必要と考えます。先進地下呂温泉の視察では、観光協会や商工会などが主体となるべきとのご意見でした。今後は町と3者の連携でより効果的な事業への発展を目的とし協議を進め、設立へつなげたい。



GWのトンボロ臨時駐車場



つちもと なおや
土本直矢 議員

バイオマス発電の赤字リスクは

(町長) 初期投資を含めず事業収支のみで黒字

質問 公設民営であるため、初期投資の3.7億円を除外して黒字とする試算には疑問がある。町としては、赤字リスクや補填体制は。

町長 初期投資を含めず事業収支のみで黒字試算です。赤字の可能性もゼロではなく、補填が必要な場合は株主総会の判断で対応します。会社としての借入れや、第三者から出資を募る可能性はあると考えます。

質問 町が主体となって発電するのではなく、既存の林業事業者を支援し、チップで収益化を図るなど、リスクの低い民間連携型の支援の検討はしてきたのか。

町長 検討しましたが、結果として、バイオマス発電以上に収益が見込めないとの判断に至り、断念した記憶があります。

森と海の6次産業

今後は個別の成果検証

質問 町が約3.7億円を投じ

た森と海の6次産業プロジェクトは、5社に対して個別の成果指標が設定されておらず、成果の検証が不十分では。今後の改善策は。

まちづくり戦略課長 全体のKPIのみで個別の設定は行っておりません。今後は、事業者ごとに客観的な成果検証が行える体制を整備します。

質問 地域課題に取り組む企業との連携や受け入れ体制への、町の今後の姿勢は。

町長 必要な事業者とは適宜お付き合いしていきます。新規参入でも、公募でも、いい事業者があれば組むのが町のスタンスです。

監視カメラの導入は

必要だと認識

質問 人口減少と高齢化に伴い、行方不明者や犯罪への不安が高まる中で、防犯カメラは、地域の安全インフラとして重要だと考える。主要道路や町の出入り口、通学路、公共施設などに防犯カメラを設置する考えは。

町長 町としても必要だという認識はしておりますので、近隣市町の動向などを参考にしながら検討していきたいと考えています。



バイオマス発電設置仁科予定地（役場増進センター裏）

役場のコンプライアンス対策は (町長) ハラスメント防止要綱があります



加藤 かつこ 議員

質問 役場のコンプライアンス問題への部署と体制について町長の考えは。

町長 町には「西伊豆町ハラスメント防止要綱」があります。

違反と対処法は

調査で必要な措置を

質問 コンプライアンス違反と対処法は。

町長 問題が発生した場合、調査を行い、調査結果に基づき必要な措置をしています。

目安箱の設置は

設置はしていません

質問 他の市町では無記名で周りの方の意見も出しやすいと思われる単純な目安箱の設置もあるが、目安箱の設置はいかがか。

町長 目安箱は設置していませんが、庁舎内だけのチャットアプリを導入し、庁内どの職員にもアプローチすることができます。

質問 ハラスメントと解雇が混在する場合など、町を支える若者。お年寄りを支える若者の育成の観点からすると西伊豆町で留まり就職した職場での解雇、自主退職に至るまでのお互いに話し合いができること。話を聞いてもらう場所があるだけでも問題が発生した場合の抑止になり、昨今の多様性、持続性の社会を担う若者たちの考え方を取り入れる場所になると思うがいかがか。

町長 私も同感であります。少しでもこの西伊豆町に魅力を感じて入職された職員が長く働ける環境を考えています。

質問 人の目を気にせずに話しができるプライバシーが保たれる個室等の相談室の設置は。

町長 過去には町長室しか個室はありませんでしたが、今は副町長室も囲いがあります。ケースバイケースで庁内にある空き会議室なども利用して相談を受けています。



相談室にもなる会議室



なか じま 中島 健 議員

磯焼けへの対策は

(町長) 地元ダイバーと連携し効果を把握

質問 町は令和5年から磯焼け対策としてウニ駆除を行っているが、その効果をどのように把握をしているか。また、駆除したウニはどのように処理をされているか。

町長 地元ダイバーと連携し、経過観察を実施し、効果を把握しています。

駆除したウニは釣り客へのコマセとして、地元飲食店に食材として、静岡県水産海洋技術研究所に試験用に供給しています。

ウニの堆肥化は

いいものだと認識

質問 今後、駆除したウニを廃棄していくことも予想されるが、生ごみを堆肥化させる資源循環システムの導入、又は現在実施している近隣の町との連携を検討していただけないか。

町長 堆肥化させる実証実験も行っており、いいものだと認識していますが、実際それをどこで行うかという

ことになってきますので、有用だと認識していますが、今現在は考えていません。

配置型の磯焼け対策

必要なことと認識

質問 配置型の磯焼け対策を検討できないか。

町長 地球温暖化対策の一環としては必要なことと認識しています。今後検討はさせていただきます。

水道料金などの電子決済

今後検討していきたい

質問 水道料金などの支払いをコンビニエンスストアにて支払いができないか。

町長 ランニングコストがかかるため、行わない選択をしてきました。

質問 電子決済での支払いを検討したことはあるか。

町長 住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税については、5年4月からできるようになっています。なお、水道料金や介護保険料などの公金は8年9月より制度が開始予定なので、今後検討していきたいと考えています。



西伊豆町の海を守るために磯焼けの対策を

バイオマス発電計画見直しは

(町長) 現計画は大変有益



あさ 浅賀もと 希 議員

質問 発電事業設置場所を宇久須のAGCM敷地に置く理由はどのようなことか。

町長 既存の建屋、事務所トイレ、給排水設備が利用できることによるコスト抑制。燃料原木を置くための広い土地があること。宇久須港に隣接しているため将来の輸送拠点となりうること。以上3点です。

質問 発電に必要な材が不足した場合、賀茂地区内の材を活用するとのことだが、それなら賀茂地区全体で川下対策を考えるべきでは。

町長 賀茂地区全体で対策を行うことは、必要だと考えますが、広域になると運搬コストが掛かるため木材を運ぶと言うことに関しては近い現場で行う方がメリットになると考えます。

質問 森林整備は、全国的な問題だが、川下対策でバイオマス発電に取り組んでいる自治体はごく少数である。現在計画中のバイオマス発電事業が本当に有効なのか

見直しの選択肢はないか。

町長 川下の整備は必須、C材の利活用としてバイオマス発電事業が一番成り立つものであり、現計画を進めることは大変有益と考えています。

二拠点生活者支援

現行の制度の中で

質問 親の介護で自分の生活拠点と西伊豆町で生活をしている二拠点生活者に対し、町の健康診断や予防接種の支援ができないか。

町長 介護のための二拠点生活以外にも色々な家庭があることは、承知しています

が、現行の制度の中でできることを行っていきたいと考えます。

新たな災害対策は

避難路の点検・改修

質問 国から出された新たな被害想定を受け、新たな災害対策の考え方は。

町長 被害想定の内容は、厳粛に受け止めております。津波からの被害を防ぐためこれまで津波避難タワーを設置してきました。津波避難タワーの建設が終わりましたら、今後は、避難路の点検・改修のフェーズにも移行する予定です。



本年度建設予定の築地津波避難タワー建設地



やまもと
山本

ゆたか
豊 議員

バイオマス発電設置場所は (町長) コスト削減と利便性に期待

質問 バイオマス発電設置場所は脆弱性や事業継続性(BCP)リスクがあり、防災・減災対策が取られていないことが、総合計画の趣旨に反するのではないかと。

町長 津波は回避できませんが、コスト削減効果や宇久須港隣接で、海上輸送の利便性が期待できます。

質問 再エネ賦課金(一般家庭で年間約1万9千円負担)がFIT制度の原資であるため、全町民への詳しい説明責任があるのではないかと。

町長 事業に関しては、町内5箇所で行われた、町政報告会で触れています。

なお、住民説明会は柴区及び仁科浜、築地区で現在調整中です。

質問 専門家による事業評価の結果、黒字は難しく、(株)トビムシの発電事業経験もないことから、第三者評価委員会の設置が必要では。

町長 黒字経営が可能との判断で、委員会の設置は考えていませんが、今後の検討

によって、設置は可能と考えます。

廃校の多目的活用は

重要かつ慎重な取り扱い

質問 少子高齢化や人口減少で、廃校は増加傾向にあるが、その多目的活用は住民参加型の検討が必要では。

町長 私も同感で、必要性は強く感じますが、旧田子小学校の跡地利用に関しては何も決まっておられませんので、今、何かをどうするということとはできません。

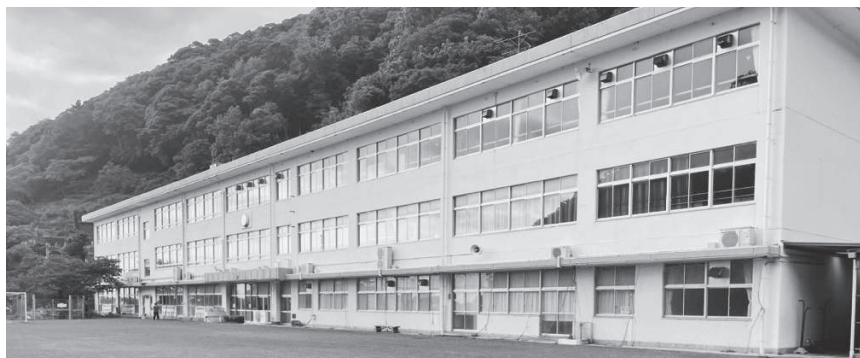
広域ごみ処理の対応は

コメントし難い

質問 6月3日の静岡新聞に「南伊豆町が離脱※」との掲載があり、広域ごみ処理計画の頓挫も考えられる。既存の焼却施設は、今後10年程度の使用が可能で、持続可能な社会システムの構築には、ゴミの減量化、資源化は不可欠であるが、具体的な対策についての考え方は。

町長 公式見解が出ておりませんので、コメントし難い案件です。

※6月24日付けで南伊豆町長から南伊豆地域清掃施設組合からの離脱の申出がありました。



天然芝が鮮やかな旧田子小学校(広域避難場所)

介護事業所支援と人材不足対策

(町長) 介護報酬見直しを国県に要望



かわうち 河内 ひとみ 議員

質問 訪問介護の基本報酬減額への影響で町内の訪問介護事業所が今年になって休廃業が進んでいる。ヘルパー確保を含め、実態調査及び物価高騰に対する支援は。介護福祉士や介護支援専門員の受験費用及び更新手数料費用と介護職に対する処遇改善手当を、町独自で検討するつもりはあるか。

町長 県町村会を通じて国及び県へ介護報酬を見直すよう要望しています。新たな加算の創設には、財源の問題など解決すべき課題があります。なるべく元気で長生きができる町をつくりつつ、介護職の処遇改善も、町でできることは、取り組んでいきたい。

住宅改修・福祉用具の給付券は

近隣市町の動向注視

質問 住宅改修や福祉用具購入は、利用者が初めから1割負担で済むような給付券扱いにするべきでは。

町長 近隣市町の動向を注視してまいります。

紙おむつ代支給について

国は廃止の方向

質問 紙おむつ代の支給は非課税世帯に限定されている。課税世帯も支給対象にできないのか。

町長 国は廃止、縮小する方針を示しておりますので、今後の動向を注視しつつ、本事業の方向性を検討してまいります。

避難タワーのスロープ化は

3人並んで上れる階段



車椅子で登れない津波避難路

質問 階段が上れなくなっている高齢者が増えている。支援が必要な方のための避難タワーのスロープ化や、津波避難場所の整備はどうなっているのか。

町長 避難タワーへ上がるまでの時間を想定しますと、階段部分を3人で並んで上がれるように整備した方がよいと考えます。

質問 福祉避難所は津波浸水想定区域内となっている。本当に避難できるのか。

町長 受入れられないというのが現状です。



つみ 圭 祐 議員

こども園建設の候補地は (町長) 切土調査の結果待ち

質問 こども園建設候補地の旧西伊豆中学校裏山の切土調査について、6月末までを工期として調査中だが、町長はどのように考えているか。また、どのようなこども園を思い描いているか。

町長 現在調査中で、結果が出るまで答弁できません。

質問 先川地区移設の際、地元住民との関係で断念せざるを得なかった過去があるが、今後の進め方は。

町長 先川と同じ手順で進めています。調査結果で建てられることが判明したら候補地の一つとして検討する予定です。

複式学級の解消は

保護者と意見交換会

質問 8年には、仁科・賀茂小学校で複式学級が3クラス（6学年分）生まれてしまう。統合を急ぐべきと考えるが、進捗状況は。

教育委員会事務局長 10～11年の統合を目標に、小学

校・こども園の保護者と意見交換会を開催しました。

質問 統合の時期がはっきりしていない理由はなにか。

教育長 賀茂小学校の一部の児童が統合を2回経験することになるため、子どもや保護者の不安があり、話し合いが必要と考えます。

中学校の統合は

組合立も考える

質問 西伊豆中学校と松崎中学校の統合について今後の展望は。また、5月20日の西伊豆・松崎合同説明会で

発表した組合立とは何か。

教育長 組合立とは、西伊豆町・松崎町合同で組合を立ち上げ、2町にまたがる学校を管理運営する仕組みです。片方の教育委員会に任せるのではなく、お互い対等な立場でよりよい教育環境づくりを進めることができます。

町長 今年生まれた子どもは12年後に必ず中学生になりますので、先を見据えて議論をし、政策を打っていかねばなりません。



旧西伊豆中学校裏山

農業経営者の支援策は (町長) 販売力の強化をサポート



いそ
磯

きよ ひこ
清 彦 議員

質問 農業経営者への具体的な支援策はあるか。

町長 はんばた市場やふるさと納税、ロケサポで生産者の露出を増やすなどして、販売力の強化をサポートしていきたい。

質問 今年3月に、宇久須地区、中地区に地域計画が設定されたが、知らない人も多いと思う。農地所有者や生産者に説明会を開いたらどうか。

産業振興課長 地域計画策定にあたり、農地所有者にアンケート調査を実施しています。その際に、資料を送って説明しています。今後も、必要に応じて対応していきます。

質問 町で、耕作放棄地を借り上げて、家庭菜園などを整備することは可能か。

産業振興課長 市民農園などについては、農業委員会に相談し、法律の範囲内で必要性を判断した上で検討します。

農道の整備予定は

意見を聞きたい

質問 中地区で、農作業をしにくい場所があり、農道を整備すれば、作業性が非常に良くなるが、整備できないか。

町長 ただ農道を整備することではできません。耕作者が増えて、要望が上がってくるようであれば、意見をお聞きしたい。農道ではありませんが、旧西伊豆中学校のところに町道を整備する予定はあります。



町道予定地から中地区方面を臨む

松崎中との合同部活動は

協議を続ける

質問 西伊豆中、松崎中で統合の話がでたが、合同部活動の話はストップするのか。

教育委員会事務局長 ストップするということではなく、同時進行で協議は行っていきたいと考えています。

質問 部活動指導員の導入は考えているか。

教育委員会事務局長 指導員が確保できる部活から検討していきたいと考えています。

黄金崎海岸

黄金崎の眼下に広がる静かな入江、地元では「根合海岸」と呼ばれ親しまれてきたこの場所がダイバーの間では、「黄金崎公園ビーチ」として全国に知られる人気スポットになっています。海は一年を通して穏やかで透明度も高く、生物も豊富。お客様から「楽園のようだ」と言われることもあります。



【投稿者】
高木剛彦さん

ダイビングショップの経営者で黄金崎公園ビーチに精通している方です。

最近では「ハナイカ」という珍しいイカが話題に。赤や黄色に体色を変える姿はとても美しく、多くのダイバーがその姿を見にこの地に足を運んでくれています。地元の自然と、人のやさしさがぎゅっと詰まった黄金崎公園ビーチ。リピーターが多いのも、きっとここに暮らす皆さんの温かいおもてなしの心が伝わっているからでしょう。これからも、この素晴らしい海を大切に守りながら、地域の誇りとして、多くの人に愛される場所であり続けてほしいと願っています。

猿っ子おどり



【投稿者】

浅賀丈吉さん

柴区前区長
地元の歴史の研究に精通しています。

柴地区に伝わる「猿っ子おどり」の起源は、はっきりしていませんが伝承では昭和十七年頃までは、十六丁の櫓を持った大きな船を宇久須湾に浮かべて祭りを行ったと言われています。なお昭和五十年代までは「猿踊り」と呼ばれていました。継



承者の高齢化により、子供会で引き続くこととなり、その時から呼び名も「猿っ子おどり」となりました。「猿っ子おどり」は5年に1度、宇久須神社の祭典で、柴の出崎神社から月原の宇久須神社までお舟の形をした山車を引き、その舳先で披露が行われました。また毎年11月3日の出崎神社の祭典で奉納を行ってきましたが、現在は宇久須神社・出崎神社ともに祭典が縮小されたため、「猿っ子おどり」は残念ながら目にするとはできなくなりました。

令和7年7月15日 発行

編集 西伊豆町議会 広報編集委員会

発行 静岡県西伊豆町議会

住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、気軽にお聞かせください。TEL：52-1962